

中長期総合ビジョン（令和 7 年度～令和 9 年度）

■医療法人社団東洋会の基本理念

地域の皆様の健康管理と信頼される医療機関を目指します

■医療法人社団東洋会の基本方針

・地域に開放された医療機関として安全、安心、納得を提供する。	・継続的な医療、介護、健康増進を提供すると共に地域連携を推進する。	・地域医療、保険活動に積極的に参加し、地域社会に貢献する。	・知識技術習得及び自己研鑽に努め職域を活性化する。	・働きやすく、やりがいのある職場づくり。
--------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------	---------------------------	----------------------

■中長期ビジョン実現のための3ヵ年計画

	令和 7 年度～9 年度		
中長期事業計画項目	① 2040 年の地域包括ケアシステムに対応した医療・介護体制の再編実施 ② かかりつけ医機能の強化 ③ 人口減少への対応・働き方改革 ④ DX の推進 ⑤ 通所介護リハサポート 移転工事 ⑥ 病院機能評価更新（令和 7 年 11 月）		
具体的内容	① 地域包括ケアシステムに対応した医療・介護体制の再編実施 現許可病床数 82 床は、地域包括ケア病棟 43 床、回復期リハビリテーション病棟 39 床の構成で、令和 4 年 8 月より運営している。また、介護医療院も令和 6 年 3 月に 8 床を増床し 56 床にて運営している。 地域包括ケアシステムに対応する為に、在宅医療の提供体制を充実させ、特に訪問診療・訪問看護を充実させる。また、オンライン診療等を利用して、他介護施設事業所等との連携を強化する。 地域リハビリテーション体制向上の為に、フレイル対策・介護予防・地域活動を積極的に支援し、医療・介護・地域の連携をスムーズにし、地域包括ケアシステムの充実を支援する。 介護保険事業のリハサポートは、在宅生活支援の役割を強化する為のサービスを常に検討し、更なる充実を目指す。 これらの取組が、かかりつけ医（かかりつけ病院）としての役割を担う信頼される機関を目指す。	② かかりつけ医機能の強化 高齢の患者が多い当院では、かかりつけ医の機能も重要であり、包括的な医療介護の提供と連携により、かかりつけ患者を支援する。 24 時間の医療支援体制により、外来・在宅・入院・入所等を利用して、安心して暮らせる医療提供を目指す。 ③ 人口減少への対応・働き方改革 人口減少が進むこの地域では、医療需要も減少し始めて、医療機関の縮小も始まっている。地域医療構想では、療養病床の過多地域となっている。この地域役割を亜急性期～回復期を担う医療機関を目指しているが、近隣他機関との連携や役割分担を検討する為に、地域連携推進法人の設立を進める。 働くスタッフの減少も始まっていて、若い方や子育て世代の働きやすい魅力ある職場づくりにを目指し、働き方の多様性を検討する。また、継続して外国人労働者の活用を拡充する。	④ DX の推進 業務の効率化を目的に ICT・ロボット等の活用を目指す。 健診・医療・介護のデータ連携を拡充する。 労務管理・書類の管理等、グループウェア等の活用を拡充する。 ⑤ 通所介護リハサポート 移転工事 島原市が進める下川尻町の道路拡張工事に伴い、通所介護リハサポートが立退き移転をする。 令和 8 年 6 月移転に向けて、病院裏手に工事を進める。 ⑥ 病院機能評価更新（令和 7 年 11 月）4 回目の更新 病院機能評価を継続することで、病院の質の評価と継続・向上を目指す。